メッセージアウトライン

日付	2013年3月31日
単元	イースター
テーマ	イエス様のよみがえり
タイトル	イエス様の言葉を思い出した女の人たち
テキスト	ルカ24:1-12
参照箇所	マタイ28:1-20
暗唱聖句	ルカ24:5,6 「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです。」(新改訳)

導入	復活の朝、イエス様の葬られた墓でどのようなことが起こったのでしょうか。イエス様の体が墓の中にないことを見た女の人たちといっしょに復活の朝に起こったできごとを見ていきましょう。
Ⅰ	**墓の中にイエス様の身体がありませんでした** A. 女の人たちは葬りのために墓に行きました(1節) B. 墓の石が転がしてありました(2節) C. 墓の中にはイエス様の身体が見当たりませんでした(3節)
Ⅱ	**イエス様はよみがえられました** A. 天使が女の人たちに遣わされました(4節) B. 天使はイエス様がよみがえられたことを伝えました(5-7節) C. 女の人たちはイエス様の言葉を思い出しました(8節)
Ⅲ	**女の人たちはイエス様のよみがえりを伝えました** A. 墓で見たこと、聞いたことのすべてを伝えました。(9節) B. 弟子たち全員に伝えました。(9節) C. そのほかの人たちにも伝えました。(9節)
結論	**イエス様はよみがえられたお方であり、墓の中にはおられないお方です**
適用	女の人たちはイエス様が葬られた墓で不思議な光景を見、天使に会いました。しかし女の人たちがイエス様の復活を確信したのはイエス様の語られた言葉でした。女の人たちがイエス様の言葉によって信仰を深めたように私たちも神様の言葉によってイエス様の復活を深く信じるものとなりましょう。
備考	

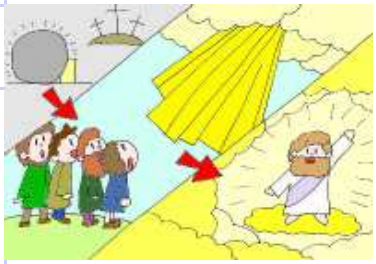
メッセージアウトライン

日付	2013年4月7日
単元	イースター
テーマ	大宣教命令に従う弟子となる
タイトル	大宣教命令
テキスト	マタイ28:1～20
参照箇所	マルコ16:15～20
暗唱聖句	マタイ28:19～20「それゆえ～ともにいます」

導入	マタイ福音書の最後は、非常に重要なイエスさまの命令で締めくくられています。今日はこの「大宣教命令」について学びましょう。
Ⅰ	**イエスさまは、弟子たちにお会いになりました（28:1～10、16～17）** A. マグダラのマリヤたちはイエスさまのお墓に行きました B. イエスさまは、墓からよみがえられました C. イエスさまは、ガリラヤで弟子たちに現れてくださいました
Ⅱ	**イエスさまは、「弟子としなさい」という大切な命令を与えてくださいました（18～20a）** A. イエスさまは、天においても、地においても、いっさいの権威のあるお方です B. イエスさまは、あらゆる国の人々を弟子としなさいと命じられました C. イエスさまは、いつも私たちとともにいてくださると約束してくださいました
Ⅲ A. B. C.	（イラスト無し）
結論	**イエスさまは、大宣教命令を与えてくださいました**
適用	イエスさまは、復活し、今も生きておられます。ですからイエスさまの権威に、すべての者が従うべきです。イエスさまを伝えましょう！そして、この命令を成し遂げるために、復活のイエスさまが、私たちとともにいてくださるのです。あなたも、この命令に従って、イエスさまの弟子となりましょう。そして、世界の人々を弟子とする働きをしましょう。イエスさまが、ともにいて助けてくださるから大丈夫です！
備考	

メッセージアウトライン

日付	2013年4月14日
単元	イースター
テーマ	キリストの昇天
タイトル	イエス様はどこに
テキスト	使徒1:3-11
参照箇所	ヨハネ20:24-29
暗唱聖句	使徒1:11

導入	イエス様は十字架にかかった後、3日目に甦りました。その後、イエス様はどこに行かれたのでしょうか？	
Ⅰ	**復活されたイエス様は、弟子たちにお会いになりました。（使徒1:3）** A. イエス様は、復活してこの地に40日間おられました。 B. イエス様は、ご自分が生きておられることを示されました。 C. イエス様は、神の国のことをお話しされました。	
Ⅱ	**イエス様は、弟子たちに約束されました（使徒1:4－8）** A. イエス様は、聖霊のバプテスマを約束されました。（1:4－5） B. イエス様は、聖霊が下ると力を受けると約束されました。（1:8） C. その力は、イエス様の証人となる力です。（1:8）	
Ⅲ	**イエス様は、天に昇っていかれました（使徒1:9－11）** A. イエス様は、みんなの見ている前で、天に上げられました。（1:9） B. 白い衣を着たふたりが立っていました。（1:10） C. その人たちは、イエス様がもう一度天からお出でになることを告げました。（1:11）	
結論	**イエス様は、確かに甦られ、天に昇られ、もう一度お出でになります。**	
適用	1. イエス様が今も生きておられることを信じていますか？イエス様は死んでいなくなった神様ではなく、今も生きておられることを感謝しましょう。 2. イエス様が今も生きておられることを信じられない人がいたら、一緒にお祈りをしましょう。イエス様は弟子たちに一番分かりやすい方法で、イエス様が甦ったこと、生きておられることを示されました。信じられない人は、「イエス様が生きておられることを、僕にも分かるように体験させて下さい」と一緒に祈ろう。約束の聖霊が働いて、きっとイエス様を体験することができます。 3. 聖霊の力を頂こう。イエス様が生きているおられることを体験した人は、そのことを友だちにお話ししよう！そのための勇気や力を聖霊なる神様が与えてくれます。	
備考		

メッセージアウトライン

日付	2013年4月21日
単元	イースター
テーマ	キリストの再臨への備え
タイトル	小さなことでも
テキスト	マタイ25:31-46
参照箇所	マタイ10:42、黙示録22:12、ヘブル9:27
暗唱聖句	マタイ25:40

導入	イエス様は十字架にかかり、3日目に甦って、天に昇られました(先週の復習)。そのイエス様はやがて私たちのところに来られます。その時、どんなことをイエス様は言われるのでしょうか？	
Ⅰ	**イエス様は、再び来られます(31-33)** A. イエス様は、栄光の王として来られます。(31) B. その時、全ての人々が集められます。(32) C. 人々は、右側と左側とに分けられます。(33)	
Ⅱ	**王は、右側にいる人々を祝福します(34-40)** A. 王は、正しい人たち1人1人の愛の業を自分にしてくれたこととして数え、永遠のいのちを約束します。(34、40) B. 正しい人たちは、王にした覚えがないと語ります。(37-38) C. 王は、最も小さい者たちの1人にしたことは王にしたことだと言いました。(35-36、40)	
Ⅲ	**王は、左側にいる人々をのろわれた者どもと言いました(41-46)** A. 王は、左側にいる人々がしてくれなかったことを数え、永遠の刑罰に入ることを伝えます。(41-43) B. 左側にいた人々は、王にしなかった覚えがないと語ります。(44) C. 王は、最も小さい者たちの1人にしなかったことは王にもしなかったことだと言いました。(45)	
結論	**私たちが毎日の生活で行う親切(愛のわざ)は、どんなに小さくてもイエス様にしたこととして覚えられ、やがてイエス様が来られた時に大いに喜ばれます。**	
適用	私たちがしなかった親切は、イエス様にしなかったことになります。私たちのまわりに困った人がいたら、自分に何が出来るかを考えましょう！それがどんなに小さなことでもイエス様にしたこととして、イエス様が大いに喜んでくれます。	
備考		

メッセージアウトライン

日付	2013年4月28日
単元	イースター
テーマ	新天新地
タイトル	希望の天国～新しい天と地
テキスト	黙示録21:1-5、8、27
参照箇所	IIペテロ3:13、黙示録21章
暗唱聖句	IIペテロ3:13

導入	イエス様を信じている私たちは、死んだらどこへ行くのでしょうか？ヨハネはパトモス島で、聖霊によって天国の幻を見て、それを書き記しました（ヨハネの黙示録）。イエス様を信じている人が行く天国って、いったいどんなところなのでしょうか？
I	**天国は、神様が共におられるところです（21:3）** A. ヨハネは幻で、新しい天と新しい地を見ました。 B. 神様が私たちと共に住まわれます。 C. 私たちは神の民となります。
II	**天国では、全ての痛みや悪が取り去られます（21:4-5）** A. 神様は、私たちの痛みや悲しみを知っておられます。（4） B. 天国では、もはや死ぬこともなく、全ての痛みや罪が取り去られます。（4） C. 天国では、古いものが過ぎ去り、全てが新しくされます。（5）
III	**天国は、小羊のいのちの書に名前が記されている人が入れます（21:8、27）** A. 小羊とはイエス様のことで、いのちの書に名前が記されている人とは、イエス様を信じている人のことです。（27） B. イエス様を信じていのちの書に名前が記されている人は、天国に入ることができます。（27） C. イエス様の救い（十字架と復活）を信じないで、罪や汚れを持っている人は、天国に入れません。（8、27）
結論	**イエス様を救い主と信じている人は、罪がゆるされて素晴らしい天国に入ることができます。**
適用	1. 私たちは死んで終わりではありません。イエス様を信じていのちの書に名前が記されている人は、天国行きの切符を持っているのです。イエス様を信じ続けていきましょう！ 2. イエス様の十字架は全ての罪から私たちをきよめ、罪に勝つ力を与えてくれます。このことは神様が喜んでいないなぁと思うことがあれば、お祈りの中で神様に「ごめんなさい」と悔い改めましょう。 3. せっかく地上で家族や友だちになったのに、一緒に天国に行けなかったらさびしいよね。家族や友だちがイエス様を信じること
備考	